

1. 単元 絵本を楽しもう「月ようびは なに たべる？」

2. 指導についての考え方

○児童の実態

本学級は、男児○名女児○名で構成されている。それぞれの児童ひとり一人の個性や発達段階は様々で、学習面や体調面などにおいては、個に応じた支援や配慮が必要である。

今までに、帰りの会などの学級の時間にいろいろな絵本の読み聞かせを行い、子どもたちは日頃から絵本に親しんでいる。図書室でも、自分の好きな絵本を選んで挿絵や写真を眺めたり、音を出して遊んだりすることができる。1学期のチャレンジタイムの中で取り組んだ「はらぺこあおむし」の学習では、大型絵本を見たり、パネルシアターを楽しんだりした。「はらぺこあおむし」の歌のCDを繰り返し聴き、歌詞を覚えて歌ったり、「あおむし」のペープサートや食べた物の絵カードを操作したりして意欲的に取り組むことができていた。

かずやことばに関しては、文字や数字の読み書きができたり簡単な計算ができていたりする児童もいるが、ことばや指示の聞き分けの難しい児童もいる。

○単元設定の理由

本単元は、「月ようびは なにたべる？」という絵本の歌遊びを通して、次々と変化する色鮮やかな挿絵に注目したり、いろいろな動物や食べ物の絵と名前を結びつかせたりしながら、絵本を楽しむことをねらいとしている。この絵本を教材に取り上げたのは、絵本の楽しさがわかり始め、さらに「食べる」ことに大きな関心がある本学級の児童にとって、ことばやかずの学習への意欲や興味・関心が持続しやすいのではないかと考えたからである。パネルシアターではひとり一人が操作活動できる場があり、自分で考えて行動することの大事さやみんなに認められることの喜びを感じることができる。学ぶ楽しさを感じながら生活を豊かに生きていく力をつけていきたいと願っている。

○支援にあたっての考え方

学習内容の工夫

- ・児童が見通しを持って活動できるように、同じ学習の流れを積み重ねる。毎回の学習の始まりには「チャレンジタイム」の歌を歌い、学習の始まりを意識できるようにする。前半は、絵本やパネルシアターを中心としたクラス集団での全体学習、後半は、それぞれの実態に応じた課題の個別学習を行う。最後に、児童の楽しみにしている絵本の読み聞かせを行う。学習内容に見通しが持てるように、「流れカード」を提示し、活動が終わるたびにはずしていく。また、絵本の読み聞かせが始まる合図にはベルを使用する。

学習環境の工夫

- ・教室内は、児童席、児童机、パネルステージ、それぞれのカードの置き場所などを、児童の動線や視線の向きなどを考慮に入れ配置する。全体学習では、みんなで楽しく学びあえるように、児童椅子のみを使用し、児童同士や教材や指導者との距離が近づくようにした。個別学習時は、集中して学習に取り組めるように、学習内容の似通った児童どうしは席を並べ、いつでも指導者からの支援が受けやすくした。

3. 単元目標

- ・パネルシアターや歌あそびで「月ようびは なにたべる？」のお話を楽しむことができる。
- ・見通しを持って個別学習に取り組むことができる。

4. 児童の実態と目標

	A 児	B 児
個別の指導計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ひらがなやカタカナの読み書きができる。 ・簡単な足し算引き算の計算ができる。 ・100までの数の数唱ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひらがなやカタカナなどの文字に興味を持ち、形の違いがわかる。 ・具体的な操作活動を通して、色や数への関心を持つ。

単元に関わる実態	<ul style="list-style-type: none"> ・パネルシアターや絵本の読み聞かせは好きで、集中して楽しむことができる。繰り返し取り組むと内容を覚えて、自分でも操作をしたがったり台詞を言ったりする。 ・与えられた課題には、短時間集中して取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物の本が好きで、何冊も机に並べてよく見ているが、パネルシアターや絵本も落ち着いてよく見る。 ・手順が理解できると、ひとりでも手早く課題をやり終えることができる。
単元の個別目標	<ul style="list-style-type: none"> ・お話の中の言葉を言ったり、自分でカードを選んで操作活動を行ったりして、絵本を楽しむことができる。 ・プリント学習や100までの数などの自分の課題に意欲的に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物の絵や文字に興味を持って操作活動を行うことにより、かずやことばに親しむことができる。 ・食べ物の絵カードを5個ずつ集めたり、ひらがなスタンプを押したりして課題を終わらせることができる。
支援の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の意欲を高めるために、教材には本児の興味のある食べ物の絵が色鮮やかに描かれている絵本である「月ようびは なにたべる？」を選んだ。また、歌に合わせてパネルの絵を操作する本児の好きな活動を取り入れる。 ・学習の意欲が持続しやすいように、個別学習は「月ようびは なにたべる？」の内容から、本児の実態に応じたプリント課題を準備する。 ・言葉による指示はできるだけ少なくし、本児の自主的な活動を見守るようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく学習ができるように、本児の大変興味のある食べ物の絵と食べ物の文字カードを対応させる活動を取り入れる。 ・個別学習は、「月ようびは なにたべる？」の課題の他、日頃から「おはようタイム」の時間にも取り組んでいる内容と似通ったひらがなスタンプやかずの学習課題を準備する。 ・注意がそれてしまわないように、いつもとあまり変わらない教室環境にしておくようにする。また、本時使用の教材・教具の配置や整理整頓にも配慮する。

5. 指導計画（全11時間）

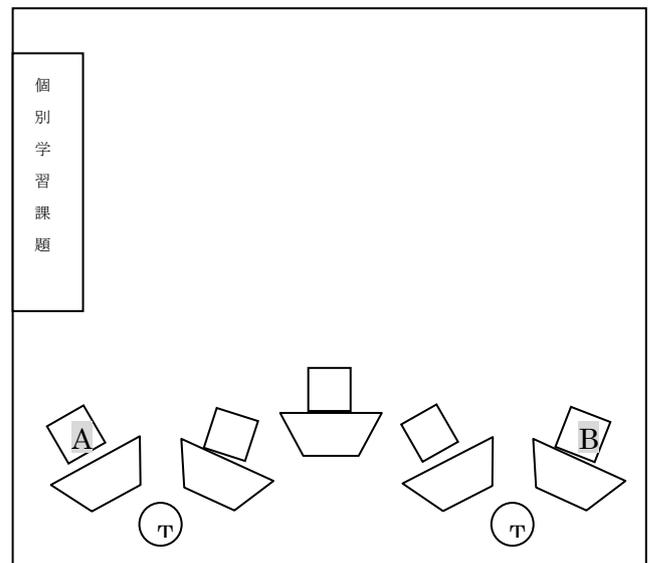
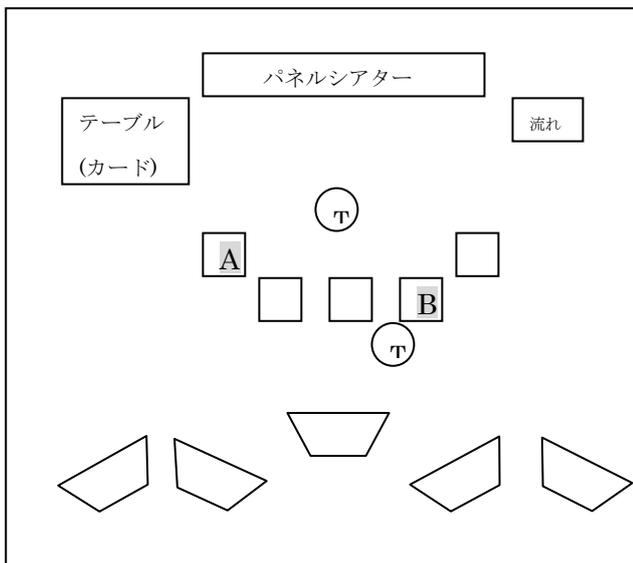
	主な学習活動	配時
第1次	○ 大型絵本「月ようびは なにたべる？」を読もう ○ それぞれの課題に取り組もう。	2時間
第2次	○ パネルシアター「月ようびは なにたべる？」で遊ぼう ○ それぞれの課題に取り組もう。	7時間 (本時6 / 7)
第3次	○ 「月ようびは なにたべる？」のおたのしみ会をしよう。 ○ 好きな食べ物を作って食べよう。	2時間

6. 本時について

○場の設定

全体学習

個別学習



○準備

ホワイトボード 学習の流れカード 数字カード

CD デッキ 曲「月ようびは なにたべる？」 大型絵本「月ようびは なにたべる？」

パネルシアターステージ大・小2 パネルスタンド

絵カード 文字カード 顔写真

個別学習課題5人分

○本時の展開

(1) 本時の目標

- ・お話を楽しみ、絵カードと文字カードを正しく対応させることができる。
- ・プリント学習・100までの数字の学習を集中して取り組むことができる。

(2) 展開

	めざす姿	評価
A 児	<ul style="list-style-type: none"> ・歌に合わせて正しく絵カードと文字カードを対応させている。 ・プリント学習・数字の学習を集中して取り組むことができる。 	<p>正しく対応させることができたか。 【できた できない】</p> <p>集中して取り組めたか。 プリント【できた できない】 数字並べ【できた できない】 数唱 【できた できない】</p>
	学習内容と活動	支援の工夫
	1, 「チャレンジタイム」の歌を歌う	
	2, はじめのあいさつをする。	
	3, ひらがな・カタカナの学習「絵本を楽しもう(月ようびは なにたべる?)」	3, 「絵本を楽しもう(月ようびは なにたべる?)」
	<ul style="list-style-type: none"> ・大型絵本の読み聞かせを聞く。 ・歌にあわせてパネルシアターを操作する。 ・自分の食べたい食べ物絵カードとカタカナカードを選んで貼る。 ・曲にあわせて自分たちの貼ったカードの歌を歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の意欲が持続するように、はじめに大型絵本の CD を流しながら絵本の読み聞かせをする。 ・自分の好きな食べ物カードをすばやく選ぶことができるように、見やすく並べておく。 ・曲に合わせてやすいようにカードを示しながら歌をクラス全員で歌う。
	4, 個別課題学習に取り組む。 ○プリント学習 ○100までの数字 ・カード並べ ・数唱	4, 個別課題学習 ・学習の流れが継続するように(月ようびはなにたべる?)から本児の実態に応じた課題を準備する。
	5, 絵本の読み聞かせを聞く。	5, 絵本の読み聞かせを聞く。 ・絵本タイムが始まることに気づくようにハンドベルを鳴らす。
	6, 終わりのあいさつをする。	

	めざす姿	評価
B 児	<ul style="list-style-type: none"> 歌に合わせて正しく絵カードと文字カードを対応させる。 集中して「ひらがなスタンプ」を使い、食べ物の名前を正しく押すことができる。 	<p>正しく対応させることができたか。 【できた できない】</p> <p>集中してできたか。 【できた できない】</p>
	学習内容と活動	支援の工夫
	1, 「チャレンジタイム」の歌を歌う。	
	2, はじめのあいさつをする。	2, はじめのあいさつをする。
		<ul style="list-style-type: none"> 手順カードを使い時間の見通しを持たせる。
	3, ひらがな・カタカナの学習 「絵本を楽しもう(月ようびは なにを食べる?)」	3, ひらがな・カタカナの学習
	<ul style="list-style-type: none"> 大型絵本の読み聞かせを聞く。 歌に合わせてパネルを操作する。 自分の食べ物絵カードと文字カードを選んでパネルに貼る。 曲に合わせて自分たちの貼ったカードの歌を歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しみながら曲を聴けるようにジェスチャーをつけながら、本を提示する。 順番がきたら絵カード・文字カードが貼れるように声かけをする。 好みの絵カードを選びやすい位置に用意する。 曲に合わせてカードを見ることができるよう主人公の猫をかたどった指示棒を用意する。
	4, 個別課題学習に取り組む	4, 個別課題学習
	<ul style="list-style-type: none"> 絵本に出てきた食べ物カードと文字カードを対応させる。 食べ物の名前を「ひらがなスタンプ」を使って押す。 	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に取り組めるように好みのイラストを使ったカードを用意する。 楽しみながらスタンプを押すことができるようにカラフルなインクを用意する。
	5, 絵本の読み聞かせを聞く。	
	6, 終わりのあいさつをする。	